

## 2018年12月28日3Dフォーラム第125回研究会・見学会報告

作成： 桑山 哲郎 (3Dフォーラムプロジェクト世話役) E-mail: [tkuwa@ga.catv-yokohama.ne.jp](mailto:tkuwa@ga.catv-yokohama.ne.jp)

### ■2018年度第2回VRと超臨場感研究会

・開催日時:2018年12月28日(金)9:00-12:00

日本バーチャルリアリティ学会 2018年度第2回VRと超臨場感研究会が、首都大学東京日野キャンパス2号館402教室で開催されました。同日午後開催の第125回3Dフォーラム研究会と、参加は相互に自由としました。全部で13件の研究発表が行われ、熱心な討論が行われました(プログラム参照)。研究と論文に取り組んでいる大学生の皆さんの発表で、研究との取り組みについて詳しく知ることができました。

大変良い天候で年末としては暖かく、参加者にとっては快適な研究会日和でした。



図1 首都大学東京 日野キャンパス-1



図2 首都大学東京 日野キャンパス-2

### ■3Dフォーラム第125回研究会

・開催日時:2018年12月28日13:50-17:30

首都大学東京の日野キャンパス2号館402教室で、前掲の研究会に引き続き3Dフォーラム研究会を開催しました。参加者は12名と少人数でしたが、池井先生の研究室見学まで、内容の充実した研究会で参加者は皆満足されたと思います。佐藤部会長挨拶に続き、2件の報告と池井教授の講演が行われました。



図3 3D関連資料のデモ



図4 研究会の様子



図5 池井教授の講演

池井教授の講演では、視覚に対する映像表示だけではなく、手や足への刺激や振動、嗅覚、風などを用いて五感全体を刺激する全体構想を知

ることができました。この結果、超臨場感を備えた追体験や、まるでその場に居る様なテレエクスぺリエンスシステムについての知識を得ることができました。

動画を用いた効果的なご講演で、プログラム上の制約で、時間が限られていたのが残念でした。

### ■見学会

16:20 より 5-102 実験室に移動し、VR を実際に体験する見学会を行いました。論文を読み、講演を聴講するのと実際の体験は全く違い、それぞれの装置を十分に体験することができました。デモしていただいた内容を十分説明しきれないので、強く印象に残った事柄を報告します。

「五感シアター 超臨場感ディスプレイシステム」で、旅行追体験の間に若い女性とすれ違う場面があり、そのとき人物の方向から、香水の香りがしたのを特に印象的な体験としてあげの方が多数居られました。私は食料品売り場での、オレンジの香りが強く記憶に残っています。また“TwinCam Go”（全天球リアルタイム立体システム）での、自分自身の身体を 3D 映像としてわずかな時間遅れで見るのは、大変奇妙な体験でした。

講演会場と実験室見学を儀準備いただき、また熱心にご説明いただいた皆様に深く感謝いたします。

(以上)



図 7 実験室見学-2



図 8 実験室見学 -3



図 6 実験室見学 -1



図 9 実験室見学 -4